



鏡野町長

山崎 親男

町民の皆様には、2006年の初春を健やかにお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年は3月1日旧4町村が合併して新鏡野町が誕生し、新町の「未来を創造」した合併記念式典を7月に挙行いたしました。また、10月には43年ぶりという秋季国体が岡山県で開催され、我が鏡野町においても成年女子ハンドボール競技が行われ、町民あげての大会となり、多くの町民の皆様に感動を与えてくれた大会でもありました。さて、我が国の経済は、若干、回復の兆しをみせながらも、地方自治体を取り巻く環境はますます厳しさを増しています。

本町においても、厳しい財政状況ではありますが、子育て支援、介護保険をはじめとする保健福祉の充実、環境問題、ごみ問題の対応、下水道整備等々、行政課題が山積しております。これらの行政課題に対応するため、行財政を見直し、健全な財政運営、スリムな行政を目指すため、行財政改革に不転の決意をもって取り組み、町民が安心、安全な、そして安定して暮らせるよう、限られた財源のなかで、町民各位並びに議会議員のご支援、ご協力をいただきながら新しい町づくりを進めて参る所存であります。

本年もなお一層のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。



鏡野町議会議長

西山 宣治

町民の皆様には、希望に満ちた輝かしい平成18年の新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

さて、昨年3月には、歴史と伝統のある4町村が、地理的条件あるいは気候風土の違いを乗り越えて合併をし、新生鏡野町が誕生いたしました。今年で2年目を迎える訳でございますが、それぞれの地域が力を合わせ、心をひとつにすることによって、新生鏡野町の夢と希望の持てる未来が開けるものと確信するものでございます。

また、合併後の新町建設計画の実施に向け、厳しい財政運営を余儀なくされますが、議会といたしましても、限られた財源の中で、効率的、効果的な事業推進が図られるよう、町行政と一体となって諸事業の推進に最大限の努力をしていく所存であります。さらには、この超高齢化社会、少子化社会を念頭に置き、将来の鏡野町に対応するべく、行財政改革に緊急に取り組まなければならないと考えています。

今後とも、議員各位とともに研鑽を重ね、活力ある町づくりに新たな決意をもって取り組んで参る所存であります。

皆様方のご理解ご協力を申し上げますとともに、皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。